

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プロッサムジュニア 大野教室			
○保護者評価実施期間	2026年2月25日		～	2026年3月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2026年2月25日		～	2026年3月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達や特性に合わせた支援を大切に、安心して過ごせる環境づくりを行っています。個別の関わりと集団活動を取り入れながら、子どもたちが楽しく活動し、人との関わりを学べるよう支援しています。	職員同士で日々の様子を共有し、子どもへの関わり方や支援方法について話し合いながら支援を行っています。また、活動内容も子どもたちが無理なく参加できるよう、発達段階や興味に合わせて工夫しています。	職員研修や支援の振り返りを行い、支援の質の向上に努めていきます。また、安全面の確認や活動内容の工夫を続けながら、子どもたちが安心して楽しく過ごせる事業所づくりを進めています。
2	子ども一人ひとりの発達や特性に合わせた療育を行い、遊びや活動を通して社会性やコミュニケーション力、生活力が育つよう支援しています。個別の関わりと集団活動を取り入れています。	子どもの興味や発達段階に合わせて活動内容を工夫し、無理なく楽しく参加できるようにしています。職員同士で子どもの様子を共有しながら、関わり方や支援方法を考えています。	活動内容の工夫や振り返りを行いながら、子どもたちがより楽しく参加できる療育を目指します。また、職員研修などを通して支援の質の向上に努めていきます。
3	送迎時の会話や連絡アプリなどを通して、保護者の方と日々の様子を共有し、安心して利用していただけるよう努めています。家庭と事業所で子どもの成長を一緒に見守れるよう連携を大切にしています。	お父さまの様子やできたことを分かりやすく伝えるよう心がけています。また、保護者からのご相談やご意見にも丁寧に耳を傾け、必要に応じて職員間で共有し支援に活かしています。	保護者の方と情報共有を大切にしながら、安心して相談していただける関係づくりを続けていきます。また、より分かりやすい情報提供や連携の方法についても工夫していきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースや設備面について、子どもたちがより広く体を動かせる環境としては十分でない部分があります。	活動スペースや設備面に限りがあるため、事業所内だけでは子どもたちが十分に体を動かせる環境としては難しい面があります。	戸外活動を積極的に取り入れるとともに、公園や体育館などの施設も活用しながら、子どもたちがのびのびと体を動かせる機会を増やしていきたいと考えています。
2	幅広い年齢の方を受け入れているため、すべての利用者に見合った集団活動の設定が難しい。	利用者の年齢や発達段階、興味関心に違いがあるため、同じ活動内容でも難易度や理解度に差が出やすく、全ての利用者が無理なく参加できる集団活動を設定することが難しいことが要因と考えられます。	年齢や発達段階に合わせて活動内容を調整したり、グループ分けを行うなど、それぞれの子どもが無理なく参加できるよう工夫しています。また、職員間で子どもの様子を共有しながら支援方法を考えています。
3			